

調査・研究報告書の要約

書名	平成22年度我が国機械産業のBCP（事業継続計画）のあり方に関する調査研究報告書				
発行機関名	社団法人 日本機械工業連合会・株式会社 東レ経営研究所				
発行年月	平成23年3月	頁数	85頁	判型	A4

[目次]

序（会長 伊藤 源嗣）

はしがき（代表取締役社長 三本木伸一）

目次

本調査の概要

第Ⅰ章. BCPに関する国内外概況整理

1. 我が国におけるBCP策定の現況
 - 1-1. BCPに対する意識の推移
 - 1-2. 我が国産業界におけるBCP認識の現状
 - 1-3. 海外企業との策定状況比較
2. BCP策定に関する公的施策動向
 - 2-1. BCPの政策的な位置付け
 - 2-2. 国レベルの支援策
 - 2-3. 自治体レベルの支援策
3. 海外におけるBCP周辺動向
 - 3-1. 海外企業のBCP取組み
 - 3-2. ISO規格化の動向

第Ⅱ章. 機械産業BCP意識動向調査

1. 調査概要
 - 1-1. アンケート調査設計の概要

1-2. 回答企業プロフィール

2. 調査の結果

参考資料：調査票

第Ⅲ章. 国内機械メーカーBCP 取組み状況調査

1. ヒアリング調査の概要

2. ヒアリング結果

2-1. 建設・農業機械メーカーA社

2-2. 兵神装備（株）

2-3. セコムトラストシステムズ（株）

2-4. 特定非営利活動法人 事業継続推進機構

2-5. （株）米谷製作所

第Ⅳ章. 機械産業における BCP のあり方

1. 我が国機械産業の BCP 取組み状況整理

1-1. アンケート調査結果に関する考察

1-2. ヒアリング調査結果に関する考察

2. 機械産業の特性と BCP 取組み上の課題

2-1. 中小企業への BCP 普及

2-2. サプライチェーンのリスク対策強化

3. 機械メーカーに求められる取組みに関する提言

4. 機械産業の BCP サポート策に関する考察

5. 機械メーカーの社会的責任に関する考察

[要 約]

阪神淡路大震災、中越沖地震、さらに新型インフルエンザの流行等によって企業の事業継続を危うくするリスクに対する認識と、その対策の必要性は国内機械産業にも徐々に浸透しつつあるが、今回の東日本大震災はさらに巨大なリスクの存在を我が国企業に教えたといえる。現実には BCP 策定はまだ大手企業中心の取組みにとどまっており、中小企業

での普及は遅れているのが現状であることから、まず出来ることから着手するという意味で防災計画を整備し、さらにもものづくりバックアップといった手法を普及させることで、個々のメーカーのリスク対応力、そしてメーカーの集合体としてのサプライチェーンリスク対応力を高めることが急務である。

第 I 章. BCP に関する国内外概況整理

1. 我が国における BCP 策定の現況

我が国の企業の間には BCP という意識が普及しはじめた契機として、まず 1995 年の阪神淡路大震災が挙げられる。ただ、BCP 意識の普及という意味で最もインパクトが大きかったのは 2007 年 7 月 16 日に発生した新潟県中越沖地震において、柏崎市のピストンリングメーカー・リケンが大きな被害を受けたケースであろう。政策投資銀行アンケート結果等からも、企業としてなんらかの防災取組みが必要であるという必要性が近年になって浸透してきたことが伺える。

2. BCP 策定に関する公的施策動向

国による首都圏直下型地震の減災目標では風速 3m/s の場合で 34 兆円分、15m/s の場合で 42 兆円分の被害額をセーブすることを目指しており、BCP 普及による軽減効果がそのうちの約 4 兆円である。資金的サポートに関しては商工組合中央金庫などによる中小企業向けメニューが目立ち、内容的には融資のほかに補助事業などがある。

3. 海外における BCP 策定の状況

米国企業の取組みは、前述のように同時多発テロ事件を契機として普及したこともあり、「テロ対策」的な性格が濃かったが、2005 年にハリケーン「カトリーナ」が米国史上最悪とも言われる自然災害による被害をもたらしたことで、それまでのテロ対策偏重ではなく、自然災害に対する BCP に必要性が認識され始めた。また、英国では英国規格協会 (BSI) と事業継続協会 (BCI) が、2006 年に自己認証用の BS25999-1、2007 年に第三者認証用の BS25999-2 を定めるなど、リスクマネジメント規格化の動きも活発である。

第Ⅱ章. 機械産業 BCP 意識動向調査

1. 調査概要

国内機械産業に属する企業の「BCP」に対する認識及び策定状況の整理把握するため、社団法人日本機械工業連合会の正会員 49 社及び、日機連団体会員の 49 工業会（協会）の正会員より、正会員数を勘案した上で、無作為に企業を抽出し、アンケート票を送付した。送付先部署は、危機管理・安全管理・CSR などの管理責任部門として、主に、総務関連部門、安全管理部門、CSR 部門などである。送付数は 500、回収数 202（回収率 40.4%）である。

2. 調査の結果

BCP について、「聞いたことがあり、その意味や内容もよく知っている」のは 20.8%、「聞いたことがあり、意味や内容もある程度は知っている」と回答したのは 27.2%で、BCP とは何か「知っている」と回答したのは、約半数の 48.0%であった。

BCP を認知している 131 社のうち、BCP を既に策定済みと回答した企業は 14.5%であった。全体としては企業規模が小さくなるほど策定率が落ちるという状況が顕著である。BCP を策定しないと回答した理由として最も多かったのが「人員・資金面での余裕がないから」44.1%であり、ヒトとカネのリソースの不足が BCP 策定のネックになっている現状がうかがえる。

第Ⅲ章. 国内機械メーカーBCP 取組み状況調査

1. ヒアリング調査の概要

個別企業の具体的な BCP 取組み状況や課題等を抽出するため、訪問面接ヒアリング調査を実施した。ヒアリング対象企業は建設・農業機械メーカーA 社、兵神装備（株）、セコムトラストシステムズ（株）、特定非営利活動法人 事業継続推進機構、（株）米谷製作所の 5 社である。

2. ヒアリング結果

ある程度の大手企業になると、社内的にも BCP や事業リスクに対応するための部署・組織などを整備しており、海外事業所なども含めたリスク対策という面でもかなり進んでいることがわかる。

一方、兵神装備のような中小企業でも阪神淡路大震災などの教訓から、優先順位を決めて段階的な BCP 策定を進めており、総合的リスク対策を一度に策定しようとするよりもステップを踏んだ現実的取組みがむしろ有効であることがうかがえる。また、事業継続推進機構や米谷製作所からは第IV章の「ものづくりバックアップ」提言につながる貴重な示唆が得られた。

第IV章. 機械産業における BCP のあり方

1. 我が国機械産業の BCP 取組み状況整理

避難や消火といったようなとしての「実務的な防災」はある程度浸透しているものの、BCP のような「経営課題としての防災」という意識の浸透が、特に中小企業の間には十分でないという我が国機械産業の状況が察せられる。また、事業停止に追い込まれた企業の生産そのものを同業他社にバックアップしてもらうという体制構築の重要性が指摘された。

2. 機械産業の特性と BCP 取組み上の課題

自動車であれ電機であれ、どのサプライチェーンの構成企業群にも多くの中小企業が存在しており、しかも今回の調査結果が示すように、その多くが防災計画や BCP 策定に着手できていないという現実がある。サプライチェーンとしてのリスク対応力底上げのために構成企業群個々の対策が求められるとすれば、防災対策や BCP 対応の遅れが目立つ中小企業の中にリスク対策をいかに普及させるかが重要になる。

3. 機械メーカーに求められる取組みに関する提言

中小企業に対しては最初の入口である防災計画をまず策定し、従業員の生命や安全確保というステップをまずクリアした上で、次に前項でも触れた「ものづくりバックアップ体制の整備」の二つをまず進めることを提言した。ものづくりバックアップには人手も資金

も必要ない。特に中小企業においては通常取引においても経営者同士の人間関係がものを言うというケースが多いが、同業他社同士でのものづくりバックアップを進める時にはこういった経営者同士の信頼関係がさらに重要になる。

4. 機械産業のBCPサポート策に関する考察

中小機械メーカーのものづくりバックアップを普及させるためには、近隣の同業他社同士であれば経営者同士の信頼関係が大きくものを言うが、広域的災害に備えた遠隔地メーカー同士でのバックアップ体制構築には、業界団体に期待される役割が極めて大きい。業界としてのバックアップ機能の充実が業界のリスク対応力に、そして最終的には日本の機械産業サプライチェーン全体のリスク対応力の底上げ・強化に直結する。

5. 機械メーカーの社会的責任に関する考察

製造よりもサービス・メンテナンス事業の方を優先させることが機械メーカーとしての社会的責任につながることもあり得るということ、機械産業全体としてもう一度認識しておく必要がある。また、今回の大震災を教訓として、機械産業にとって災害時のあるべき姿が何かという検討もまた、我が国の機械産業に突きつけられた大きなテーマであるといえよう。



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。

<http://ringring-keirin.>

